

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理、法則などを体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり表現・処理したりする高度な技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察し、思考の過程を振り返って統合的・発展的に考察することができる。数学的な表現を用いて事象を完結・明瞭・的確に表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】 自ら目的をもって、「数学科」の目標に向かって、主体的に粘り強く学習に取り組もうとしている。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や法則を体系的に理解している。事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする高度な技能を身に付けている。	数学を活用して事象を論理的に考察し、思考の過程を振り返って統合的・発展的に考察することができる。数学的な表現を用いて事象を完結・明瞭・的確に表現することができる。	自ら目的をもって、「数学 I」の目標に向かって、主体的に粘り強く学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
前期	A 単元 文字と式 【知識及び技能】 文字を使った式の表し方や式についての用語の意味を理解し、単項式や多項式の計算をすること。 二次の乗法公式の理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組む態度を養う。	文字を使った式/多項式と単項式/多項式の計算/乗法公式 教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。	【知識及び技能】 文字を使った式の表し方や式についての用語の意味を理解して、単項式や多項式の計算ができる。 二次の乗法公式の公式の理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組んでいる。	主として 考查による 評価	主として レポートによる 評価	○	1
	B 単元 文字と式、実数 【知識及び技能】 二次の因数分解の公式の理解を深めること。 有限小数、循環小数について理解し、循環小数を記号を用いて表すこと。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組む態度を養う。	因数分解/分数と小数/（展開、因数分解のくふうと利用） 教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。	【知識及び技能】 二次の因数分解の公式の理解を深めている。 有限小数、循環小数について理解して、循環小数を記号を用いて表すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組んでいる。	主として 考查による 評価	主として レポートによる 評価	○	1
	C 単元 実数・方程式と不等式 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。 等式の性質や方程式の解の意味を理解し、一次方程式の解を求めること。 【思考力、判断力、表現力等】 乗法公式を利用して、見通しをもって根号を含む式の展開をすること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次方程式を問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組む態度を養う。 身近な問題を解決することに方程式を活用しようとする態度を養う。	平方根/根号をふくむ式の計算/1次方程式 教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。	【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解して、簡単な無理数の四則計算ができる。 等式の性質や方程式の解の意味を理解して、一次方程式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 乗法公式を利用して、見通しをもって根号を含む式の展開をすることができる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次方程式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 能率的に計算できるよう粘り強く学習に取り組んでいる。 身近な問題を解決することに方程式を活用しようとしている。	主として 考查による 評価	主として レポートによる 評価	○	1

	<p>D 単元 方程式と不等式</p> <p>【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めること。 2次方程式について理解し、2次方程式を解くこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文字を含む数を数直線上に表す活動を通して、不等式の性質について考えること。 身近な問題を解決することに不等式を活用しようとする態度を養う。</p>	<p>不等式/不等式の性質/不等式の解/不等式の解き方/二次方程式とその解き方/二次方程式の解の公式/(不等式の利用)</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解して、一次不等式の解を求めることができる。 2次方程式について理解して、2次方程式を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用しようとすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 文字を含む数を数直線上に表す活動を通して、不等式の性質について考えること。 身近な問題を解決することに不等式を活用しようとする態度を養う。</p>	主として 考査による 評価	主として レポートによる 評価	○	1
	<p>E 単元 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 データに基づいた問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方を理解すること。 代表値、四分位数、箱ひげ図、分散、標準偏差、相関関係の意味やその用い方を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近なデータを分析する課程を通して、統計的探究プロセスを意識して問題解決をする態度を養う。</p>	<p>データの特徴の調べ方/代表値/四分位数と箱ひげ図/分散と標準偏差/相関関係/相関係数</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 データに基づいた問題解決の進め方やデータの特徴の調べ方を理解している。 代表値、四分位数、箱ひげ図、分散、標準偏差、相関関係の意味やその用い方を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近なデータを分析する課程を通して、統計的探究プロセスを意識して問題解決の活動について理解しようとしている。</p>	主として 考査による 評価	主として レポートによる 評価	○	1
	定期考査			○	○		1
後期	<p>F 単元 二次関数とそのグラフ</p> <p>【知識及び技能】 一次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数の式とグラフとの関係について、コンピューターなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式の係数とそのグラフの形や位置の関係について関心を持ち、考察した結果を2次関数のグラフをかくことに活用しようとする態度を養う。</p>	<p>関数/一次関数とそのグラフ/二次関数とそのグラフ/グラフの平行移動/一般形から標準形への変形</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 一次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。 二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数の式とグラフとの関係について、コンピューターなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の式の係数とそのグラフの形や位置の関係について関心を持ち、考察した結果を2次関数のグラフをかくことに活用しようとしている。</p>	主として 考査による 評価	主として レポートによる 評価	○	1
	<p>G 単元 二次関数の値の変化</p> <p>【知識及び技能】 二次関数の最大値や最小値を求めること。 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。 また、二次不等式の解と二次関数の関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 二次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に二次関数のグラフや最大値・最小値を活用しようとする態度を養う。 二次不等式の解の考察に、二次関数のグラフを活用しようとする態度を養う。</p>	<p>二次関数の最大値・最小値/二次関数のグラフと二次方程式/二次関数のグラフと二次不等式/いろいろな二次不等式</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 二次関数の最大値や最小値を求めることができる。 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解している。また、二次不等式の解と二次関数の関係について理解して、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 二次関数の値の変化に関心を持ち、具体的な事象の考察に二次関数のグラフや最大値・最小値を活用しようとする態度を養う。 二次不等式の解の考察に、二次関数のグラフを活用しようとする態度を養う。</p>	主として 考査による 評価	主として レポートによる 評価	○	1

<p>H 単元 鋭角の三角比, 三角比の応用</p> <p>【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などの具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識すること。</p>	<p>三角形/タンジェント/サインとコサイン/三角比の利用/三角比の相互関係/90° -Aの三角比/三角形の面積/正弦定理/余弦定理/鈍角の三角比</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解している。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解して、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解している。 正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などの具体的な場面の問題を解くことにより、三角比の有用性を認識している。</p>	主として 考査による 評価	主として レポート による 評価	○	1
<p>I 単元 三角比の応用, 集合と論証</p> <p>【知識及び技能】 角が鈍角の場合に、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理を用いて、三角形の面積や辺の長さを求めること。 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近なものを分類することを通して、集合の概念を理解しようとする</p>	<p>三角比の相互関係/鈍角の三角比の利用/集合/命題と集合/命題と証明</p> <p>教科書、学習書、電子黒板、プリント等を用いた一斉指導。 解説動画のQRコードを配布し、自宅学習を促す。</p>	<p>【知識及び技能】 角が鈍角の場合に、三角形の面積の公式、正弦定理、余弦定理を用いて、三角形の面積や辺の長さを求めることができる。 集合と命題に関する基本的な概念を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 身近なものを分類することを通して、集合の概念を理解しようとしている。</p>	主として 考査による 評価	主として レポート による 評価	○	1
定期考査			○	○		1
合計						11